

## 2-1

## Ver.11.5 新機能

CADPAC-CREATOR Ver.11.5 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。  
 機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.11.0 からの差分です)  
 [\*\*\*\*/\*\*\*\*] は、該当のオンラインヘルプです。

## I . 2 次元汎用機能

## 1. ウィンドウ操作

CADPAC 終了時にウィンドウの最大化状態を記憶し、次回起動時に状態を再現するようになりました。図面ウィンドウを最大化している時に、他の図面を読み込んだ際も、最大化状態で開くようになりました。  
 [基本操作 1/ ウィンドウ操作]

2. バインダー  
シート複写

シート図面を複写する際に、複写元のシート図面のタブ色を引き継げるようになりました。[基本操作 1/ バインダーについて]

## 3. 表示設定

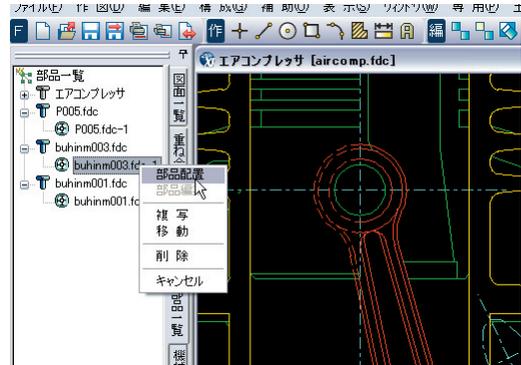
ツールビューのプレビュー画面をマウス右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、表示設定した枠と番号を表示させることができました。表示設定画面が表示されているときは、そのエリアをマウスでクリックすると、表示設定されたエリアをウィンドウに表示します。

4. ニュートラルモード  
選択要素の解除

選択されている要素をクリックすることで、選択の解除ができるようになりました。[基本操作 2/ ニュートラルモードの編集コマンド起動]

## 5. ツールビュー 部品一覧から部品配置

ツールビュー / 部品一覧から部品を選択し、直接配置できるようになりました。(従来版は、ファイル選択ダイアログボックスが表示されるのみ) 選択した部品の倍率や配置角度値も CSB に自動的に取り込まれます。  
[基本操作 1/ ツールビュー / 部品一覧]



## 6. CSB よく使うコマンドリスト

実行中の CSB のタイトル部分をマウス右クリックすると、そのコマンドの直後に使用されたコマンドリストを参照し、使用頻度の高いコマンドを順に表示します。コマンドを選択すると、選択されたコマンドが起動します。本システムを使い込んでくると、コマンド毎に使用頻度の高いコマンドがリスト化され、ワンタッチで選択ができるようになります。  
[基本操作 2/CSB の機能と操作]

\* CSB カラーテンプレートの機能は、本機能が搭載されたことにより、ctrl + マウス右ボタンに変更となりました。



## 7. 10 END/11 END

右パネルの表示オンオフに使用する 10END (表示オフ) と 11END (表示オン) で、前回状態を保持するようになりました。操作方法は、10END で表示オフにし、再度 10END で元の状態で表示します。11END は従来通り全オンとなります。  
[基本操作 2/ 標準テンキーコマンドと短縮キー]

## 8. 色選択ダイアログ拡張

汎用色選択ダイアログボックスを拡張し、ユーザー定義色をダイアログに全表示できるようになりました。

拡張型への切り替えは、コマンドの設定から色指定で行います。

色選択ダイアログボックスのタイトルバーを右クリックすると表示されるポップアップメニューから切り替えることができます。

ここで拡張型に変更すると、右パネルにも反映されます。

また、最近使った色が選択可能になりました。

[基本操作 2/CSB の機能と操作]



## 9. 右パネル / 図面情報

右パネルの図面属性で、ファイル名にマウスカーソルを合わせるとファイルの保存先パスがガイドチップで表示されるようになりました。

[基本操作 4/ 図面情報]

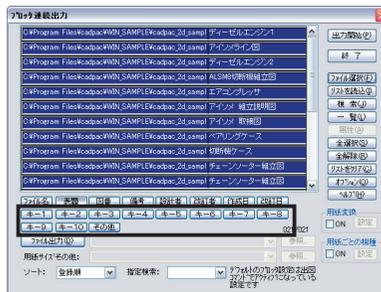


10. 開く  
図面ウィンドウを最大化の状態で作業している時に、別の図面を開いたり、新規図面を作成した場合、新規に開かれるウィンドウも最大化状態で開かれるようになりました。

11. IMGPrinter 2  
TIFF、PDF 出力に使用する IMGPrinter ドライバの新しいバージョン IMGPrinter 2 をリリースしました。Windows 7、Vista、XP で使用することが可能です。IMGPrinter 2 より、外部データ貼り付けで、Office2007 に対応しました。\* 64 ビット OS には未対応です。  
[ファイル / IMGPrinter PDF・Tiff・XCDF 出力]

12. 連続出力  
カタログ出力  
ネットワークドライブ内のファイルを選択・出力できるようになりました。  
[ファイル / 連続出力]、[ファイル / カタログ出力]

13. 連続出力  
カタログ出力  
図面属性のキー 4 ~ 10 に対応しました。  
[ファイル / 連続出力]、[ファイル / カタログ出力]



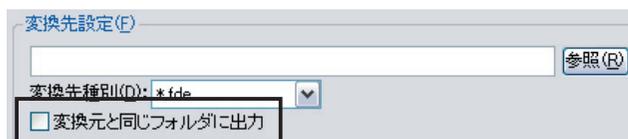
14. DWG・DXF 出力  
以下の寸法の出力に対応しました。  

- ・円寸法（直径） / 中心線引出し、注釈型 1、注釈型 3
- ・円寸法（半径） / 注釈型 1、注釈型 2
- ・角度寸法 / 標準形状、交差

 [ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 出力]

15. DWG・DXF 入出力  
新しく変換条件設定のテーブルを追加する際、そのときの設定状態を引き継いで開始されるようになりました。  
[ファイル / 外部出力 / DWG・DXF 入力]

16. 一括変換  
出力先を変換元と同じフォルダに設定できるチェックボタンを追加しました  
[ファイル / 一括変換]



## 17. 接線

これまでは対象のオブジェクトの種類をCSBから指定する必要がありましたが、本バージョンからオブジェクト指定時に自動で種類を認識するようになりました。[点円間]、[円上間]、[円上点]ボタンを削除。CSBによる種類指定は必要ありません。[作図 / 直線 / 接線]



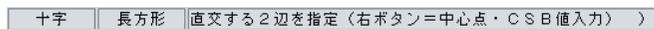
## 18. 十字

操作モードの状態がメッセージ欄で確認できるようになりました。  
[作図 / 定型 / 十字]

フリーモード時



要素指定モード時

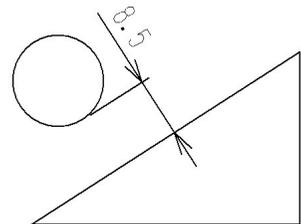
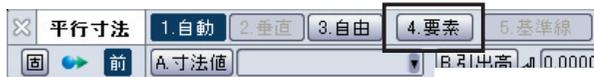


## 19. オフセット

通過点モードで作図した際、オフセット値がCSB[1.幅]の履歴に残るようになりました。[作図 / 面処理 / オフセット]

## 20. 平行寸法

CSBに[4.要素]が追加されました。要素モードは、距離計測コマンドと同じように、点または要素の最短距離の位置に平行寸法を作図します。  
[作図 / 寸法 / 平行寸法]



## 22. 平行寸法

シンボル配置点から、寸法引出し線を作図できるようになりました。シンボル配置点の検出は、平行寸法の設定から「寸法引出し線の作成位置」から設定できます。[作図 / 寸法 / 平行寸法]



23. 円寸法

形状ダイアログボックスの項目で使用できない項目をアミカケにしました。  
[ 作図 / 寸法 / 円寸法 ]



24. バルーン

バルーンの各形状ごとに外径倍率を設定できるようになりました。  
[ F. 設定 ] に新たに追加された「外径倍率」から数値入力ができます。  
[ 作図 / 文字記入 / バルーン ]

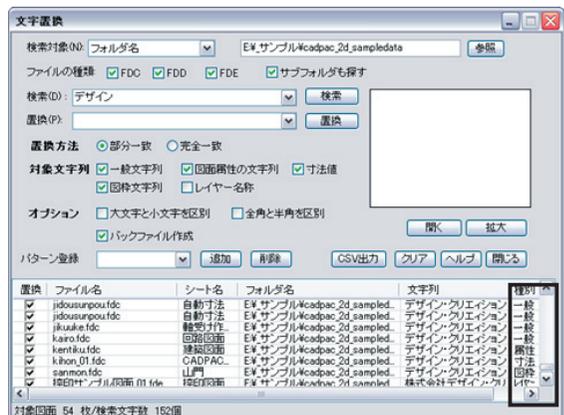


25. 吹き出し

吹き出しを文字高指定で作図した後文字列を追加すると吹き出しの外に文字がはみ出てしまいましたが、本バージョンより文字列に追従して吹き出しの大きさが変わるようになりました。  
[ 作図 / 文字記入 / 吹き出し ]

26. 文字置換

結果ログ欄から文字列の種別が確認できるようになりました。  
[ 作図 / 文字編集 / 文字置換 ]



## 27. 枠選択 CSB

単独モードの時、ダイナミックハイライトされている要素を [Y/N] 確認せずに選択ができるようになりました。システム設定 / CSB の「ダイナミックハイライト時、単独検出で Y/N 確認するをオフにします。」

[編集 / 枠選択の概要]

## 28. 寸法変更

シンボル要素から引き出された平行寸法の引出線に、追加や位置変更、削除をすると、それに合わせシンボル要素も移動、削除されるようになりました。[4. 設定] に追加された項目「寸法引出線が変動した場合、シンボル要素を変更の対象にする」をオンにします。

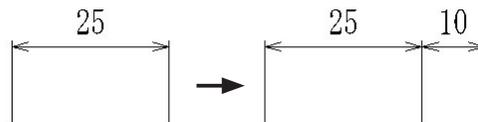
[作図 / 寸法 / 寸法変更]



## 29. 寸法変更

平行寸法の外側の引出線に追加ができるようになりました。

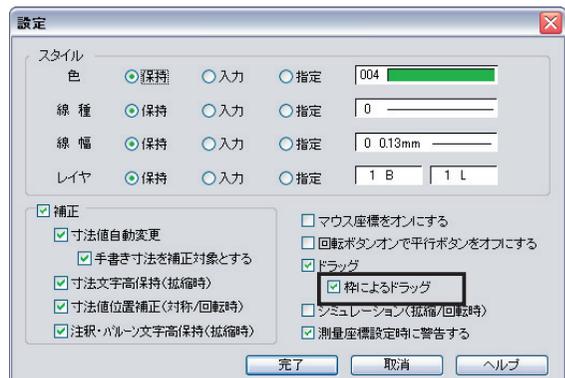
[作図 / 寸法 / 寸法変更]

30. 複写・移動  
枠による表示

複写もしくは移動する要素の要素数が 500 を超える場合に、ドラッグ中の要素を簡略化表示ができるようになりました。

[設定] の「枠によるドラッグ」を有効にします。

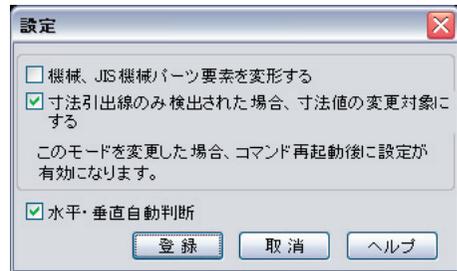
[編集 / 複写 / 複写]、[編集 / 移動 / 移動]



## 31. 変形

基準寸法で作図した要素の引出線部分のみを枠で囲っても、変形の対象とすることができるようになりました。

変形の設定から、[寸法引出線のみが検出された場合・・・]のチェックをオンにします。[編集 / 変更 / 変形]



## 32. グループ操作

グループ操作コマンドで、グループ階層のトップグループを右クリックした時に、ポップアップメニューに「複写」「移動」が追加されました。

[構成 / グループ / グループ操作]



## 33. 周長・面積

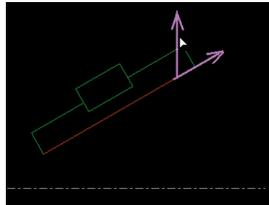
仮想線を引き、周長や面積の測定できるようになりました。

[補助 / 計測 / 周長]、[補助 / 計測 / 面積]



34. 軸傾

軸傾方向を分かりやすくするための、ガイドラインとなる矢印を表示するようにしました。また実行時に回転をアニメーションで表示する設定を追加しました。[ 補助 / システム設定 / 表示 ]



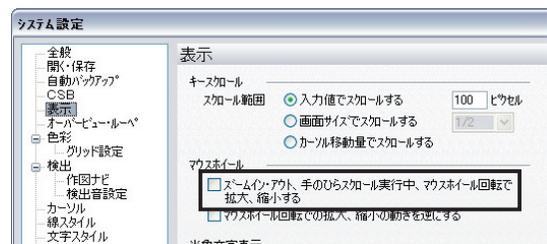
35. システム設定  
検出

新たな設定項目「グループメンバーから順に Y/N 確認を行う」が追加されました。有効にすると、単要素削除で階層化されたグループのメンバーを指定した場合に一番外側のグループから指定した個別メンバーへ順に確認が行われるようになります。  
[ 補助 / システム設定 / 検出 ]



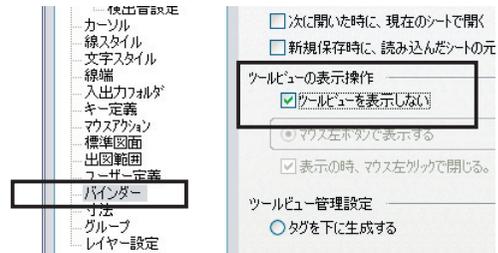
36. システム設定  
表示

手のひらスクロール実行中にマウスホイールで図面の拡大 / 縮小ができるようになりました。[ 補助 / システム設定 / 表示 ]



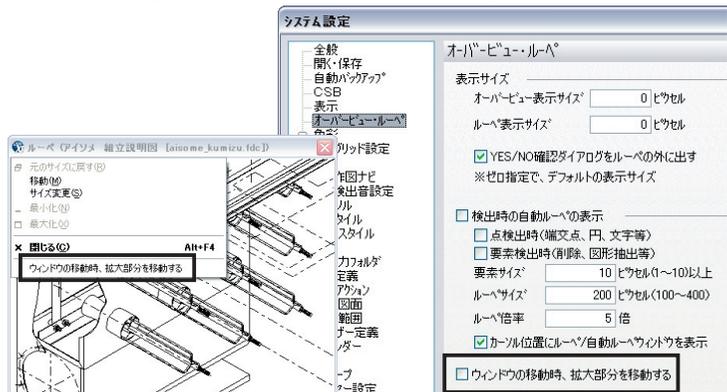
### 37. システム設定 バインダー

ツールビューを非表示にする設定が追加されました。  
設定をオンにすると、ウィンドウの左端をクリックしても、ツールビューは表示されません。ツールビューを表示させるためには、システム設定でチェックをオフにします。[ 補助 / システム設定 / バインダー ]



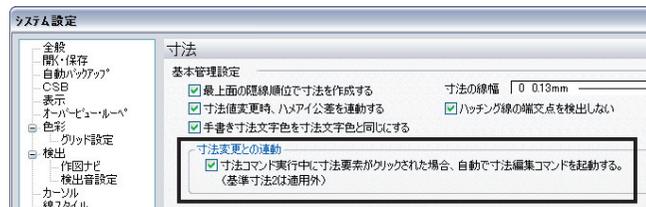
### 38. システム設定 オーバービュー ルーペ

オーバービュー・ルーペ設定に「ウィンドウの移動時、拡大部分を移動する」が追加されました。設定を有効にすると、ルーペウィンドウを動かしたとき、下にある図形を表示しながら移動するようになります。  
[ 補助 / システム設定 / オーバービュー・ルーペ ]



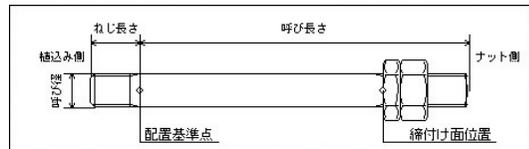
### 39. 寸法全般 自動で寸法変更を起動

寸法を作図した後に（寸法コマンド実行中）に、寸法線をクリックすると、自動で寸法変更コマンドを起動するチェックを追加しました。  
システム設定の [ 寸法 ] で、寸法変更との連動のチェックをオンにします。  
（この機能は基準寸法 2 は適用外） [ 補助 / システム設定 / 寸法 ]

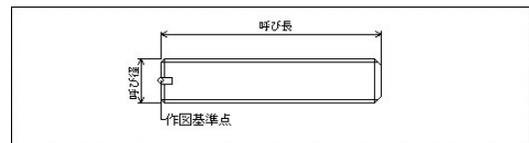


## II . 機械オプション

1. 面肌記号 [3. 設定] の項目、「加工方法」、「カットオフ値」に入力履歴が保存されるようになりました。[オプション / 機械記号 / 面肌記号]
2. 管用テーパ注釈 「管用テーパねじ」コマンドで作成したねじ図形に、注釈を自動表記できる新コマンドです。  
[オプション / 機械定型3 / 管用テーパ注釈]
3. 植込みボルト 最新JIS規格（2007年版）に対応した植込みボルトの作図コマンドです。側面図または上面図の指定ができます。ダイアログの設定により、各種形状指定ができます。  
[オプション / 機械 / 最新 JIS 対応 / 植込みボルト]



4. 止めねじ 最新JIS規格（2007年版）に対応した止めねじの作図コマンドです。側面図または上面図の指定ができます。ダイアログの設定により、各種形状指定ができます。  
[オプション / 機械 / 最新 JIS 対応 / 止めねじ]



## III JIS 機械パーツ

1. 部品ライブラリ JIS 機械パーツの部品を 2009 年 10 月末の最新版に変更しました。  
[オプション / JIS 機械パーツ]